

日本動物看護学会 第52回例会・第2回宮崎例会 開催報告

今回から本例会は宮崎県での開催を第2回宮崎例会とし、宮崎県獣医師会主催の「第4回小動物臨床部シンポジウム・動物看護師向けセミナー」との同時開催という形で実施された。参加人数は72名で、現役の動物看護師が31名、学生が32名、その他に獣医師などが9名と盛会のうちに開催された。

今回は日本動物看護学会常務理事であり、王寺動物病院取締役・動物看護師長をされている崎山法子先生により、「老犬の介護・看取り」というテーマでご講演をいただいた。講演は老犬について知ることから始まり、実際の介護、看取り、エンゼルケア、そして死を受け入れた先についてという内容で、これは現場の動物看護師が日々直面する問題でもあり、実際の事例を紹介していただきながら、非常に理解しやすく有意義なものであった。また、日本動物マッサージ協会の代表理事であり、ダクタリ動物病院・京都医療センターで動物マッサージを実施されている森めぐみ先生による動物マッサージのミニ講座もあり、大変充実した内容でもあった。

参加者からも実際の現場で遭遇する事例にそのまま応用できる内容もあり、非常に勉強になったというご意見や、どの事例もそれぞれ対応が異なり、老犬の介護や看取りの難しさも知ることができたとの声をいただいた。また、動物だけでなく飼い主への対応の重要性と難しさを改めて実感したとのご意見もいただいた。

今後も宮崎例会は宮崎県獣医師会との共催で実施してゆきたいと考えており、さらには宮崎県だけではなく、近隣の県で働いている現場の動物看護師の方にも参加を呼び掛けてゆきたいと考えている。

(669文字)